2015年８月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

月平均500 hPa 高度をみると，北極付近～ヨーロッパ東部，中央シベリア南部～東シベリア，アラスカの南で正偏差，英国の西，ロシア西部～西シベリアで負偏差となった．日本付近は帯状の負偏差に覆われた．偏西風は，ユーラシア大陸東部で分流した．中国付近から日本の東の海上にかけては平年に比べて南寄りを流れた．帯状平均した対流圏の気温は，70°S～80°S付近，70°N 付近を除き，高温偏差となり，特に熱帯域で顕著だった．

熱帯の対流活動は，平年と比べて，日付変更線西側の赤道域～太平洋中・東部の５°N 帯で活発，アラビア海～フィリピン東海上，インドネシア付近で不活発だった．赤道季節内振動に伴う対流活発な位相は，月を通して不明瞭だった．対流圏下層では，太平洋西・中部で南北半球対の低気圧性循環偏差となった．インド洋のモンスーン循環は，平年と比べて弱かった．対流圏上層では，チベット高気圧は平年と比べて弱かった．南方振動指数は－1.5だった．

世界の天候

2015年８月の世界の月平均気温偏差は＋0.45°C（速報値）で，1891年の統計開始以来，最も高い値となった．８月の世界の平均気温は，上昇傾向が続いており，長期的な上昇率は約0.65°C/100年（速報値）である．

主な異常天候発生地域は次のとおり．

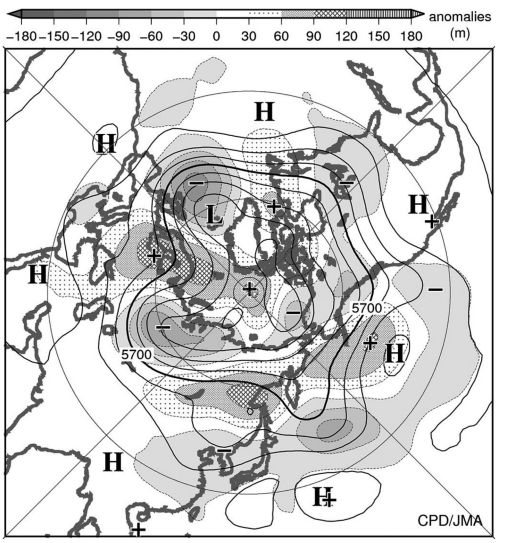
○４か月連続で，カリブ海周辺では異常少雨となり，南米北西部では異常高温となった．

○ヨーロッパ東部及びその周辺では異常少雨となった．

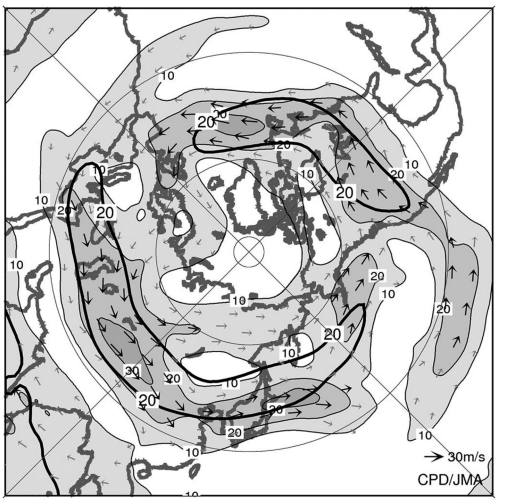
○西アフリカでは異常高温となった．

（気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課）

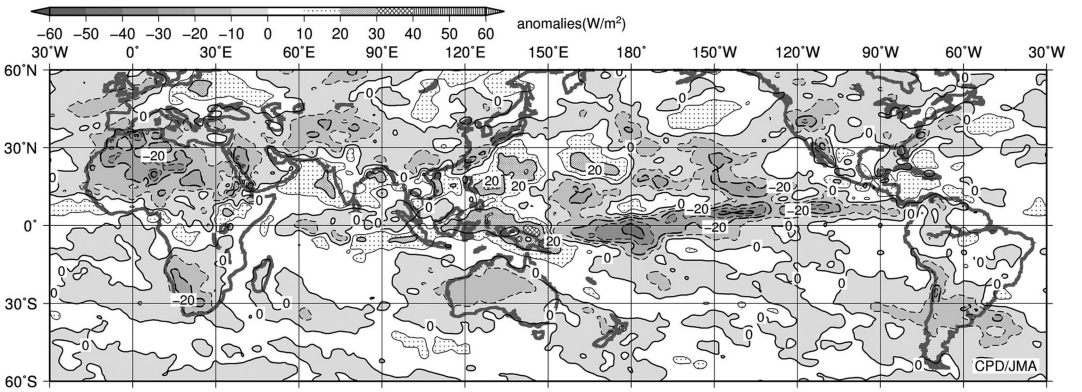
※　より詳細な情報については，気象庁ホームページ「気候系監視速報」をご覧ください．
http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/diag/sokuho/index.html



2015年８月の北半球月平均 500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m．陰影は平年偏差．平年値は1981～2010年の平均値．

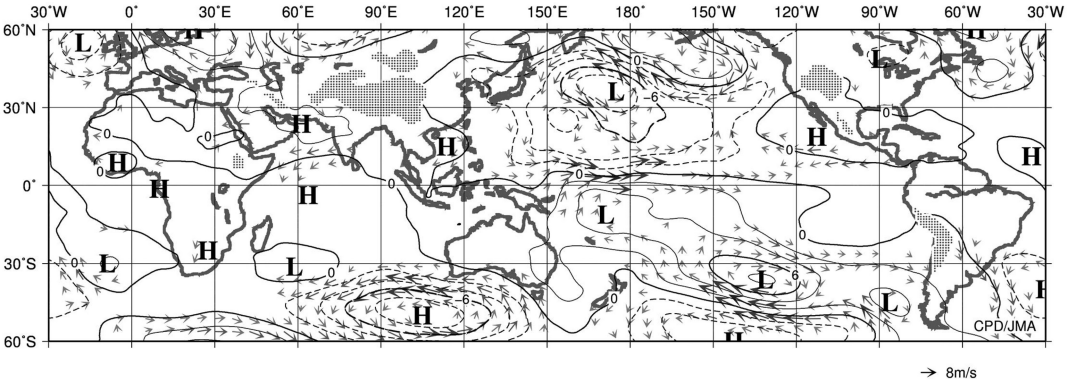


2015年８月の北半球月平均 200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は10 m/s．太実線は平年の風速で等値線間隔は20 m/s．平年値は1981～2010年の平均値．



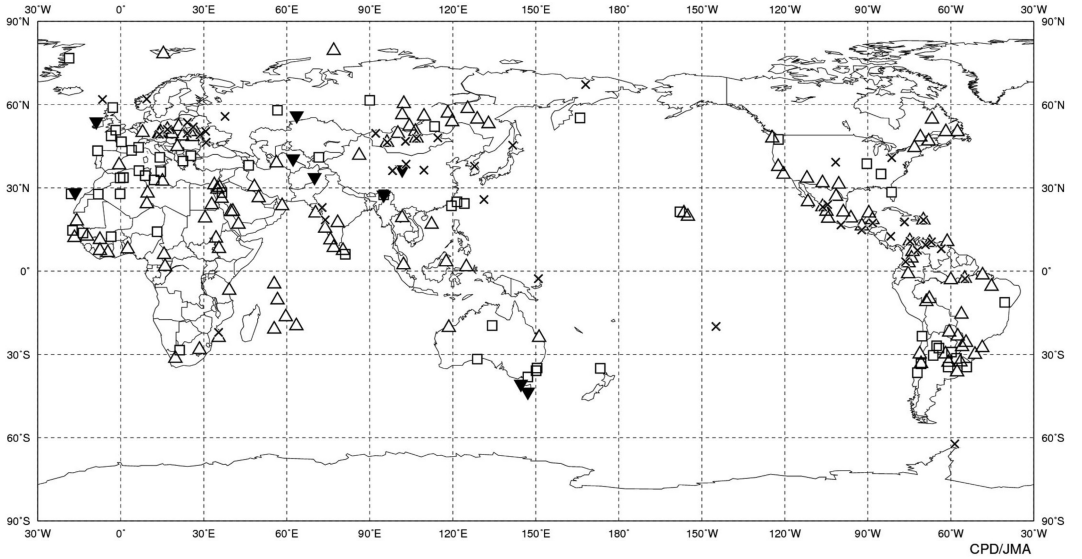
2015年 8 月の月平均外向き長波放射量平年偏差

等値線間隔は10 W/m²で，値が小さいほど対流活動が活発であったと推測される．米国海洋大気庁（NOAA）より提供されたデータを用いて作成．平年値は1981～2010年の平均値．



2015年 8 月の月平均 850 hPa 流線関数平年偏差及び風平年偏差ベクトル

流線関数の偏差の等値線間隔は 2 ×10⁶m²/s．平年値は1981～2010年の平均値．



2015年 8 月の世界の異常天候分布図　△異常高温　▼異常低温　□異常多雨　×異常少雨

異常高温・低温は標準偏差の1.83倍を超える場合，異常多雨・少雨は降水 5 分位値が 6 および 0 ．